

第1回まちづくり推進町民会議を開催

まちづくりに意見要望

平成30年度第1回まちづくり推進町民会議(山崎晴一議長)が6月21日(木曜)13:30から美深町役場大会議室において開催され、委員22名と町理事者、各課長等あわせて38名が出席しました。同会議は、町内各団体や自治会からの推薦委員、公募委員の30名で構成される住民組織です。会議では、委員への委嘱状の交付(3ヵ年)が行われた後、第5次総合計画、第5次行政改革実績について説明。

まちづくりに関する懇談では、委員から今後のまちづくりに関し、活発な意見が出されました。

会議の内容

(1) 委嘱状の交付

(2) 山口町長あいさつ

(3) 議長・副議長の選出

議長 山崎 晴一 氏

副議長 齊藤 宏行 氏

(4) まちづくり推進町民会議の役割について -①

(5) 第5次美深町総合計画について -②

(6) 美深町行政改革について -③

(7) まちづくりの推進について(懇談) -④



①まちづくり推進町民会議について

まちづくり推進町民会議は、30名の構成員で年2回開催します。主な内容は次のとおりです。

1. 町政全般に対する意見・要望
2. 美深町総合計画の進行状況の確認

町民会議では前年度の実績(6月)、翌年度計画(12月)に対してご意見をいただきます。

3. 行政改革推進計画の推進状況の確認

その年度に推進する項目の説明や推進状況(実績)を報告し、ご意見をいただきます。

4. 広報広聴モニター

②第5次総合計画について

美深町では平成22年度に第5次総合計画を策定しました。総合計画では、平成23年度から32年度までの10年間の計画を定めております。

平成30年度から平成32年度までの3ヵ年間の主要事業の説明を行いました。尚、計画額は次のとおりです。

平成30年度計画額 3,525,230千円

平成31年度計画額 3,603,330千円

平成32年度計画額 3,681,230千円

※各事業の詳細は美深町HP内に掲載しています。

③美深町行政改革について

平成30年度も行政改革大綱に基づき引き続き行政改革を進めていきます。

平成29年度の事業実績と、平成30年度の主な推進内容の説明が行われました。

※第5次美深町行政改革推進計画・実績一覧の詳細は美深町HP内に掲載しています。

④まちづくりの推進についての懇談

<出席委員からの主な質疑・意見>

●資料のスリム化について

委員～説明資料が膨大で見ると大変。
簡素化できないか？

山崎委員長

総合計画の事業量が膨大なので、資料が多くなっている。

総合計画の進行状況の確認もまちづくり推進町民会議の役割なので、御理解願いたい。

●恩根内地域の活性化について

委員～仁宇布地区はトロッコ王国、小中学校の改築検討に入るなど、活性化を感じるが、恩根内地域は寂しくなってきた。

既存のチョウザメ施設（S A F 恩根内）やアートヴィレッジ恩根内を活用して、なんとか恩根内地域も活性化していきたい。人が集まらないと行事も出来なくなる。

山口町長

恩根内地域は美深でも新規就農者が一番多く入り、若い世代が増え子どもの数も増えているという特徴も見られる地域である。

農林部全般に人口減少の課題があり、自治会を統合する議論も問題視される中、恩根内は頑張っている地域として期待したい。

●農村民泊について

委員～J A 青年部で農村民泊・ホームステイを受け入れる計画を議論し、受入を進めていきたい。具体的な活動として、数単位からでも受け入れていきたいが、難しいものか？

小栗委員（観光協会事務局長）

民泊新法により民泊は取り組みやすくなった。これまで修学旅行生などの相談あったが、受け入れ先がなかった。

キャパとしては名寄～稚内といった広い範囲で求められる。今使っていない空き家などを活用できないか？

山口町長

びふか温泉、コテージの稼働率も年々下がっている。閑散期に空き部屋としておくのも勿体無いので、修学旅行の受入で活用してほしい。

山崎委員長

びふか温泉コテージは、古くなってきているが造りとしては最高級のコテージ。

農家民泊と併せて、アイデアを出しながらアイランド施設も活用しながら進めていければ良いのでは？

